

◆2024関東連盟春季大会振り返り

2024.5.5

関東連盟 審判部

1. サイレントマナー(**投球動作時の声出し**)、セルフジャッジ(**セーフ、アウトをコールする**)等のアンフェアな行為が見受けられます。
2. マナーアップ、規則遵守のため全てのチーム関係者は、**関東連盟規程等の理解を深め**、試合に臨んでください。

項目	内容	注意ポイント
1.ボーク	投球動作の中断	◆ クラウチングからセットポジションに入らず 二塁走者を見るために上体が止まる ◆ 走者三塁の際に、 自由な足が止まる (走者なしの場合は、自由な足が止まっても罰則はないが、走者あり=ボーク)
	牽制時の踏み出し不足	◆ 牽制する塁へ向かって 踏み出す幅が短い (右手投げ投手の一塁牽制は、プレート上で回転している)
	完全静止しない	◆ セットポジションから投球する際に、 完全に静止しないで投球している
2.アンフェア	サイレントマナー	◆ ベンチ、コーチャー等が、 投球動作に入っても声を出している (例、GO!)
	セルフジャッジ	◆ 攻撃側のベンチ、コーチャー、走者が、 自己判断でセーフのコール をする ◆ 守備側のプレーヤー等が、 自己判断でアウトのコール をする (ジャッジは審判員が行うものであり、選手が行うことはNG)
	捕手ミットを動かす	◆ ボールを 意図的にストライクに見せようとミットを動かす (関東連盟大会規程細則【野球特別規則】(29)エ)
3.マナー	キャッチャーボックスから出過ぎ	◆ 極端にキャッチャーボックスから出ている (ストライクゾーンを構える位置取り)
	ベンチ前お出迎え	◆ 守備側ベンチ選手が 3アウト後 に、必要以上にベンチから出て出迎える ◆ 攻撃側ベンチ選手が 得点した際 に、必要以上にベンチから出て出迎える
4.その他	ブルペンガード	◆ ベンチ内の選手で行わなければならない(ベンチ外選手はNG)
	安全配慮	◆ 投球するたびに帽子が外れる選手(打球に当たる恐れ)